

平成29年度 発達障害児者地域生活支援モデル事業 成果物

1. 発達障害児コーディネーター事業

○ 移行支援の実施

→下記、5件について在籍園への訪問、相談、支援会議を行った。

また、保護者、在籍園の職員、教員、移行先の教員、特別支援学校巡回相談員、市町の担当職員（教育委員会を含む）、発達障害者支援センター、相談支援事業所及びその他関係間と連携して、移行支援の手法、それぞれの役割等について連携をとるとともに、移行支援会議を各圏域でおこなった。

圏域	相談支援件数	移行元	移行先
鳥栖	1件	見真幼稚園	基山町立若基小学校
中部	1件	岩松保育園	小城市立若松小学校
杵藤	1件	本應寺保育園	嬉野町立久間小学校
唐津	1件	唐津ルーテルこども園	唐津市立湊小学校
伊万里	1件	平安こども園	有田町立曲川小学校

○ 学齢期における支援困難事例の支援

→4～9月 利用児童 5名、10～3月 利用児童5名に対し、困難な課題を抱える発達障害児に対する適切なアセスメントを実施するとともに支援の方向性を共有するため、医療、教育、福祉機関で支援会議を行った。対象児童のコーディネートにあたっては、在籍校、教育委員会、巡回相談員、かかりつけ医、保護者に出席してもらい、各機関が持つ児童の特性や支援上の留意点を話し合い、個別の支援計画を作成、支援の方向性等の意見交換を実施した。

2. 発達障害者余暇支援事業

○ 各回の活動状況と利用者の意識等の変化

回数	実施日	参加人数	実施内容
1	H29.4.22	7人	テーマトーク。テーブルゲーム
2	H29.5.13	5人	テーマトーク、カラオケ
3	H29.6.10	4人	フリートーク、お菓子作り
4	H29.7.8	5人	フリートーク、テーブルゲーム
5	H29.8.5	3人	テーマトーク、カラオケ
6	H29.9.23	4人	フリートーク、テーブルゲーム
7	H29.10.28	5人	ボーリング
8	29.11.18	6人	カラオケ
9	H29.12.9	9人	近況報告、クリスマスパーティー
10	H30.1.27	5人	カラオケ
11	H30.2.17	8人	フリートーク、テーブルゲーム
12	H30.3.24	5人	カラオケ

支援スタッフの目から見た、利用者の意識の変化

- ・ 継続して参加している利用者が多いため、初めての参加者やスタッフに対して安心感が生まれ、自然な気遣いがみられるようになってきており、就労の場面でも応用できるスキルであると考えられる。
- ・ 余暇支援事業に参加する前と参加した後のストレスチェックの結果は、参加者のストレスを軽減する結果となっており、充実した休日を過ごすことができていると考えられる。

3. 発達障害者インターンシップ事業

○ 利用者アンケートの結果まとめ（インターンシップ事業）

問 発達障害者インターンシップ事業を利用した感想を教えてください。

- ・ 初めて働く練習をすることで、今後就職するために経験を積んでいきたい、
- ・ ビジネスマナーや作業などたくさんのことを学べた
- ・ 実際の職場の雰囲気作業するのはいい経験でした。
- ・ 仕事場の雰囲気がとても自分に合っていたし、自分のことを気遣ってくれる人たちがいてくれて働きやすかった。

問 実習期間は1週間でしたが、期間的にはどうでしたか。（長かった、短かった等）

- ・ ちょうどよかった（たくさんいい仕事ができよかった。）

（利用者の保護者からのコメント）

- ・ 今回の体験で少しでも社会を知ること、苦手な事こと知ることができ、作業する時に必要なこと、失敗体験、言葉の理解、思い込みにも気づいてくれたことだと思っています。
5日間と短い体験でしたが、上手にできたことを褒めてもらえて嬉しかったようです。良い体験ができたこと感謝しています。
- ・ もっとたくさんの人に「発達障害者インターンシップ事業」を知ってもらい、数人で一緒にできたら、仲間も出来てよかったと思います。